



本部設置を行う工藤市長と達副市長

1日から両給付金の申請受付を開始することとしました。

両給付金の概要につきましては、これまでも広報紙などで市民の皆さんへ、お知らせしてきたところですが、今後の申請方法など詳細は、広報紙6月号に、特

また、名寄市長が会長を務める「宗谷本線活性化推進協議会」も同行し、道北地域の総意としての要請となりました。



稚内駅に停車する特急サロベツ（2011年撮影）

日本都市計画学会 設計賞の受賞

り組みを強化し、地域振
につなげていきたいと考
ています。

国は本年4月消費税率が8%に引き上げられたことに伴い、所得の低い方や、子育て世帯への影響を考慮して、「臨時福祉給付金」並びに「子育て世帯臨時特例給付金」の支給を決

世帯臨時特例給付金の 対応

6月11日から10日間の会期で開催された市議会定例会では、工藤市長の「一般行政報告」のほか6月補正予算の審議などが行われました。※一般行政報告は、全文を一部要約して掲載しています。

定印

この両総付金の支給事務は、各自治体が行うこととなつており、本市では、市民の皆さんにわかりやすい

対応と迅速かつ確実な事務を行うため、4月21日に副市長を本部長とする「事業推進本部」を設置し、画
給付金の申請窓口を一本化
し、支給に向けた準備を進めています。

JR特急「サロベツ」 早期運行再開に対する 取り組み

行い、また第三者機関による検証もいただき、運転再開の日途は立つた」との見解をいただいたものの、国の認可手続きなどの関係もあり、再開時期などの問題言はありませんでした。

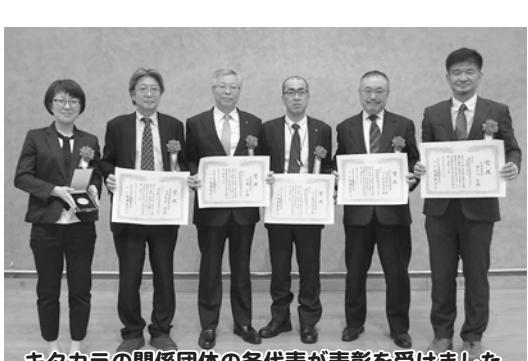
市にとって観光客の入
数の減少はもとより、市
やビジネス客の公共交通
利便性の低下など、非常
大きなものとなりました
今後は、観光協会などの
係団体とも連携を図り、

ら再開する連絡かJR北道からありました。

海道運輸局に原因と対策を報告し、了解を得た」旨

A black and white photograph of a middle-aged man with glasses and a suit, standing behind a podium. He is looking towards the camera. To his right, the characters "議長" (Chairman) are displayed on a screen. The background shows a dark wall and some decorative items on a shelf.

市では、10月末までの期間、
特待なしで各々の実習していただき



左久右二の間便団体の名代表が表彰を受けました

論文、計画設計の優秀なものについて表彰しており、平成25年度の計画設計賞は全国から、本市のキタカニを含む4件が受賞しました。今回の選定理由は、キタカラが「北国のデザイン」として都市計画の発展に顕著な貢献をし、他都市の参考となるもの」との評価を

公益社団法人日本都市計画学会は、都市計画や地方計画に関する科学技術の研究・発展を図ることを目的に、昭和26年に創立され、現在は、会員数約6千人の

受けたものです。キタカラは、平成24年1月にグランドオープンしてから2年を経過し、「交通「暮らし」、「情報」、「賑わい」の拠点として、着実にその役割を果たしつつあると認識しています。

幸主査を岩手県大船渡市に派遣しました。被災地支援のための長期派遣は、本市では、今回が初めてのことです。

現地に赴いた同主査の報告では、「震災後、丸3年が経過し、被災建築物は撤去され、いたる所で盛土工事が進められており、さながら新たな団地開発工事のよ